

# 奈弓連だより

通巻 251号

令和5年1月号

発行 奈良県弓道連盟

会長 西中正

編集担当 松澤和実 中西省五

連絡先：[henshu@narakyudo.jp](mailto:henshu@narakyudo.jp)

## 会長年頭所感

### 互いに協力、協調し合い、楽しく元気に力強く活動できる 協会にしていきたいと思います

奈良県弓道連盟 会長 西中正

昨年は、ウクライナ情勢が世界中を騒がせて私たちの生活にも不安を与えました。また、相変わらず新型コロナ対策を余儀なくされた1年でもありました。さらに大変残念なことに、12月16日に本連盟の名誉会長吉本清信先生がご逝去されました。老若男女問わずご指導くださったお人柄に敬意を表します。そして、何よりも、素晴らしい射姿を最後まで私たちに見せていただきました。弓道を愛し、弓道連盟の発展に尽力を注いでこられた吉本先生の意志を共に受け継いでまいります。

さて、令和4年度は近畿連合会の担当県です。皆様のお力添えで無事に務めることができます。3月には、最後の近畿連合審査会を橿原弓道場で実施しますので、お手伝いよろしくお願いします。

今年もコロナが終息しそうになく、県内行事において、審査会では受付時間の調整、講習会・競技会では午前



射初会にて

午後の二部制にする等、対策を講じた連盟活動を皆様をお願いする事になります。これからもコロナに負けないで、皆様が楽しく行事に参加できるように計画していきます。奈良県弓道連盟がこれからも発展していくには会員一人一人の協力が必要とされます。互いに協調しあい、楽しい弓道活動にしていきたいと思います。

## 吉本清信先生への感謝状

令和4年8月付で、公の場から身を退かれる旨の吉本清信先生からの封書を受け取られた方も多くおられるのではないのでしょうか。このことを受け、先生の永年の県連へのご功績に対して、何か感謝の気持ちを表すことができなにか考えていました。11月に入り、ご体調も芳しくないとのことで、作成を急ぐ必要が生まれ、11月27日の理事会に相談し、県連として感謝状をお贈りすることを決めることが出来ました。完成後、12月11日に、西中会長、藤岡事務局長と私の3人で先生宅を訪問し、奥様と清巳さんにお渡しすることができました。その内容について、清巳さんが先生に説明していただき、理解していただけたようです。

県連の会員の皆様に改めてご報告しますと共に、ここに謹んで先生のご冥福をお祈りいたします。



(理事長 阪中計夫)

## 奈良県弓道連盟 新年射初会

### 静寂の中、息合いと調和の美を感じる

1月8日(日)、橿原公苑弓道場において新年射会が行われました。開会に先立ち、昨年12月に逝去された奈良県弓道連盟名誉会長範士九段吉本清信先生に参加者全員で黙祷を捧げました。吉本先生の追悼射会は日を改めて開催されることとなり、この日は新年射会として射礼と昇段昇格者による演武、支部一般会員による祝射が行われました。

まず会長による巻藁射礼が行われ、澄んだ空気の中、迫力のある矢声が道場に響き渡りました。続いて顧問・副会長による4人立ちでの一つの立射礼および一つの坐射礼が行われました。射礼の厳粛な雰囲気と調和の美を体感し、弓を引くうえで目標とするところを改めて実感するとともに、今年も目標に向かって精進しようという気持ちを新たにすることができました。その後、昇段昇格者の演武、一般会員による祝射(各一手1回)で締めくくられました。

#### 【巻藁射礼】

射手 奈良県弓道連盟会長

教士七段 西中正

第一介添 錬士六段 松村由喜子

第二介添 錬士五段 乾光孝



西中会長による巻き藁射礼



2本の羽が美しく揃う

## 2022年度 年間表彰者

### 選手の皆様、おめでとうございます！

- ・第73回全日本弓道大会 (みやこめっせ)  
有段者の部 優勝 山口亮二 (生駒)
- ・第67回全国高等学校弓道大会 (徳島県徳島市)  
男子個人の部 8位 永山琉人 (桜井高校)
- ・第19回全国中学生弓道大会 (愛知県名古屋市)  
男子団体 5位 白檀中学校  
丹喜仁一朗、竹村響、廣瀬啓人、豊内陸  
男子個人 5位 豊内陸 (白檀中学校)  
女子個人 3位 村井唯夏 (香芝中学校)

#### 【特別演武】

◎一つの立射礼 (奈良県弓道連盟 副会長)

教士七段 藤岡順

教士六段 明瀬憲正

教士六段 阪中計夫

教士七段 西浦範光



息合いを感じながら

◎一つの坐射礼 (奈良県弓道連盟 顧問・副会長)

教士七段 新司正人

錬士六段 松村由喜子

教士六段 深田紀美子

教士七段 竹村邦夫



気持ちを一つに

## 【昇段昇格者】

- ◎五段昇段者  
岡雅佳 (香芝支部)  
八木ひろみ (五條支部)  
多田昌世 (奈良支部)  
長谷部好子 (奈良支部)
- ◎錬士昇格者  
太田和宏 (奈良支部)  
中島信作 (五條支部)  
中川亨 (奈良支部)
- ◎六段昇段者  
長濱有美 (橿原支部)  
高倉美香 (奈良支部)  
松澤和美 (奈良支部)
- ◎七段昇段者  
前角博 (橿原支部)



昇段・昇格者の  
演武

昇段・昇格者の  
演武



## 【一般会員祝射】 51 名



(競技部 多田昌世)

## 昇段おめでとうございます

12 月地連審査会において次の方々が昇段されました。

(12 月 18 日開催 橿原公苑弓道場)

### 四段

- Sandman daniel さん (錬弓会支部)  
黒見 博子さん (橿原支部)  
西村 龍一さん (橿原支部)

おめでとうございます。 (事務局)

## 令和 4 年度第 3 回地連審査

### 四段に 3 名が合格

12 月 18 日 (日) 橿原公苑弓道場に於いて、審査会が行われました。

今回は入場の揖で国旗に正対していない人が多く見られました。また、退場時に退場口の中央から出ていない人も多かったと審査員の先生から感想がありました。

審査結果は次の通りです。

< 第 3 回地連審査 (橿原) >

級位	受審者 24 名	1 級査定 22 名、2 級査定 2 名
初段	受審者 25 名	合格者 20 名
弐段	受審者 16 名	合格者 10 名
参段	受審者 18 名	合格者 6 名
四段	受審者 15 名	合格者 3 名

以上

(審査部 松村由喜子)

## 大和神社御弓始祭

### 新春恒例の伝統行事、五穀豊穰を願って

新春恒例の天理市の大和 (おおやまと) 神社の御弓始祭が 1 月 4 日に行われました。この行事は、奈良県弓道連盟・奈良菱友会 (小笠原門人会) が奉仕しており、お宮の伝統行事として広く知られております。

本年も、コロナウイルス感染拡大防止対策をしながらの執行となりました。当日は天候にも恵まれ、神事後、五穀豊穰・天下太平を祈り奉射が行われました。最初に、的皮にすべての魔・邪気を集め、それらの魔を鏑矢の音で祓うという「暮目の儀」が執行されまし

た。新司正人さんが射手を務め、厳かな雰囲気の中、



「ヒュー」という矢音が響き、場が清められました。続いて、宮司が一手を引かれ、年預さんと呼ばれるお宮の役員さんが4名、袴の衣装で一手ずつ大的に向かい矢を放たれ、的裏に潜む魔性退散に努められました。

その後、天理南中学校の弓道部員の6名が、2人ずつ大的に向かい的中を重ね、家族や学校関係者から大きな声援を受けながら無事執行されました。

最後に、県弓道連盟と奈良菱友会の会員で女子5名、男子5名の射手を含め総勢22名で百手式が執行されました。

百手式をはじめ古式弓道は、足さばきなど現在弓道と異なるところも多く、すぐに出来るとは限りません。射手を務めるには、場の流れ、所作の方法等経験が必要になってきます。興味のある方は、是非参加していただき、伝統行事を引き継いで頂きたいと思っております。



(顧問 深田紀美子)

### シャープ弓道部納射会(雪笹杯争奪射会) 30回目の節目を迎えて

2022年12月17日(土)に布目道場にて、シャープ弓道部の納射会を開催しました。創部以来30回目の節目の大会。シャープ弓道部の眼目【雪笹】(笹に積もった雪がぼとりと落ちる様)にちなんでの射会。

各自、四つ矢5回の20射での納射会。今年の優勝者は藤本さん。今年はシャープ関係者で、矢野さん、中島さん、太田さんの昇段があり、続くは、藤本さんの予感の納射会の結果でした。最後に、上位3名による納射を行い今年の活動はひとまずおしまい。



来年も部員メンバー精進しますので、よろしくお祈りいたします。

(シャープ弓道部  
工藤裕章)

### 第4回 シャープ・布目・石打 合同新年射会 楽しく、真剣に、友と弓を引く

吉本先生のお声がけで始まった、合同のオープン新年射会も4回目。矢渡し後の一手は、尺八の音色に包まれ肅々とした雰囲気の中、吉本清信先生への追悼の射とさせていただきます。楽しく、真剣に弓を引くことが先生の想いでしたので、その後は余興的・射礼研修・納射と多くの方に参加いただき、有意義な時間を過ごしました。

余興の板割の動画をぜひご覧ください。



各地から集まった皆さんと

(シャープ弓道部 工藤裕章)

1月15日(土)に県連的的貼りを行っていただきました。ありがとうございました。これからも皆様のご協力をお願いします。



### 編 | 集 | 後 | 記

新年明けましておめでとうございます。

先日、阪神淡路大震災の追悼行事「1.17のつどい」が行われました。今年の灯籠で作る文字は「つなぐ」でした。吉本先生が創刊されたこの「奈弓連だより」をこれからも変わらずつないでいきたいと思っております。会員の皆様の活躍を伝えられるよう努めますので、積極的な情報提供をお願いいたします。

(編集担当 中西省五)